

1 調査の概要（仙台市を含む）

調査実施日	令和8年4月23日（木） ※小学校（国語、算数）、中学校（国語、数学） 令和8年4月20日（月）～5月29日（金） ※中学校（英語）
調査対象	①児童生徒：小学校6年生（約1万6千人）、中学校3年生（約1万5千人） ②学校：小学校等（341校）、中学校等（194校）
調査事項	①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、英語（中学校のみ）〕 / 質問調査 ②学校：質問調査
調査問題	・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信
今年度の調査の特徴	・中学校・英語（4技能（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと））の全面C B T化 ・小学校・児童質問調査でのランダム方式の導入（中学校はR7より導入）

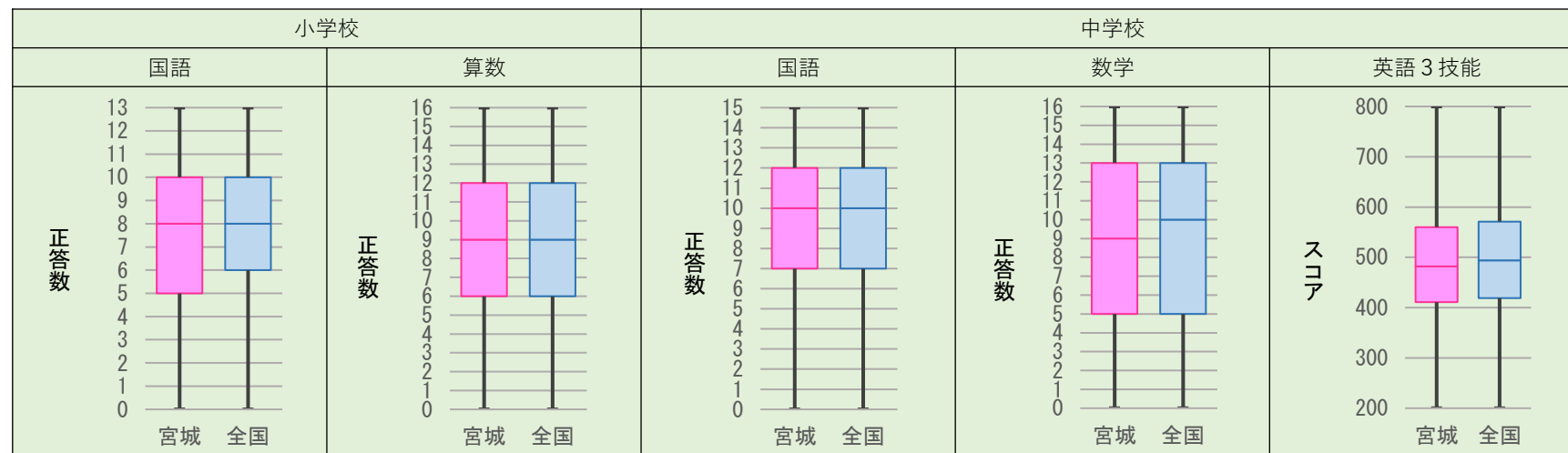
2 宮城県の正答率・IRTスコア結果概要

宮城県（公立）の平均正答率・平均IRTスコア（仙台市を含む）

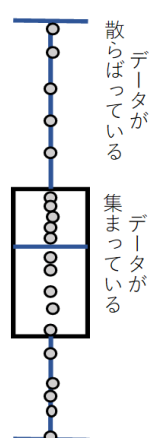
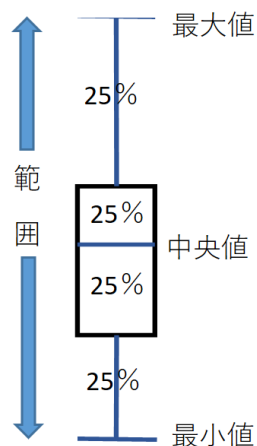
令和8年度	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語3技能 ※
宮城県	58	54	64	55	489
全国	61	56	64	57	499

※ 英語3技能はC B Tで実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

宮城県（公立）の正答数・IRTスコアの分布



箱ひげ図について



- 小学校算数、中学校国語及び数学では、得点のばらつきが全国と同程度となるなど、改善の傾向が見られた。
- 一方、全国に比べて小学校国語で下位層の得点のばらつきが大きいこと、中学校数学で中央値が低いこと、英語3技能でIRTスコアがやや低い傾向にあることが課題となっている。

3 教科に関する問題の調査結果【小学校】

小学校国語

全国値を上回った問題

□設問 1 ー

【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する
相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる問題

74.7% (全国73.9%)

全国とのかい離が見られた問題

□設問 1 二 (2)

【動画の一部】の太線囲みの部分の工夫として適切なものを選択する

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題

59.3% (全国63.2%)

□設問 2 三イ

【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

30.7% (全国45.2%)

小学校算数

全国値を上回った問題

□設問 1 (1)

一辺が8 cmの立方体の体積を求める式を書く
立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる問題

75.2% (全国72.7%)

全国とのかい離が見られた問題

□設問 1 (4)

四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く

日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題

40.3% (全国45.2%)

□設問 2 (4)

赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ

基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる問題

29.9% (全国34.2%)

4 教科に関する問題の調査結果【中学校】

中学校国語

全国値を上回った問題

□設問 2 四

話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く

互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる問題

55.2% (全国52.7%)

□設問 3 三

文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する

段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる問題

66.0% (全国65.0%)

全国とのかい離が見られた問題

□設問 3 一

文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する

文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる問題

34.9% (全国39.8%)

中学校数学

全国値を上回った問題

□設問 2

$7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$ から、 $7x$ の同類項をすべて書く

同類項の意味を理解しているかどうかをみる問題

71.9% (全国70.5%)

□設問 3

四角形 PQRS において、PS 平行 QR を示すための根拠となる二つの角を書く

2 直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる問題

49.8% (全国49.1%)

全国とのかい離が見られた問題

□設問 7 (2)

データ量が 1000MB になるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する

数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題

29.5% (全国33.9%)

※無解答率(44.7%)が高いことも課題

中学校英語 3 技能

全国値を上回った問題

□設問 2

ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する

日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題

79.0% (全国78.5%)

全国とのかい離が見られた問題

□設問 1 1 ①

与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く

音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる問題

52.8% (全国58.9%)

□設問 1 2

中学生になってからの思い出を 1 つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題

42.9% (全国47.5%)

5 児童生徒質問調査結果

授業・家庭学習への取組

成 果

授業で学んだことを実生活に結びつけて考えること、考えがうまく伝わるように工夫して発表することが全国を上回る

質問項目	県	全国
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか ※肯定的回答の割合	小 83.0 中 79.3	小 80.8 中 78.0

質問項目	県	全国
前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか ※肯定的回答の割合	小 70.9 中 71.8	小 66.4 中 65.5

今後の課題

「平日1時間以上」学校以外で学習する児童生徒の割合が全国を下回る

質問項目	県	全国
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネットの活用も含む） ※「1時間以上」の割合	小 47.2 中 56.2	小 49.9 中 61.6

I C T 機器の活用

成 果

授業でI C T機器を使用することや、I C T機器を活用して情報を整理すること等が全国を上回る

質問項目	県	全国
前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか ※「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合	小 76.0 中 86.8	小 68.8 中 78.2

質問項目	県	全国
自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか ※肯定的回答の割合	小 70.9 中 73.1	小 69.5 中 69.4

質問項目	県	全国
自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか ※肯定的回答の割合	小 75.1 中 82.6	小 74.6 中 80.0

各教科への興味・関心、理解度

成 果

自分で課題を立てて情報を整理し、調べたことを発表することが全国を上回る

質問項目	県	全国
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか ※肯定的回答の割合	小 82.2 中 84.0	小 79.9 中 80.8

今後の課題

小学校国語・算数・英語、中学校数学・英語の「勉強が好き」という回答が全国を下回る

質問項目	県	全国
国語の勉強は好きですか ※肯定的回答の割合	小 56.8 中 57.9	小 57.4 中 57.2

質問項目	県	全国
算数（数学）の勉強は好きですか ※肯定的回答の割合	小 53.5 中 55.9	小 57.6 中 56.1

質問項目	県	全国
英語の勉強は好きですか ※肯定的回答の割合	小 64.0 中 48.2	小 66.7 中 51.2

1 概況

		R8.6月末		前年同期		増減 (当月-前年同月)
卒業生		17,277	100%	17,123	100%	154
うち	進学希望者	14,058	81.4%	13,872	81.0%	186
	臨時的仕事希望者	183	1.1%	209	1.2%	▲ 26
	進路未定者	38	0.2%	36	0.2%	2
	就職希望者	2,998	17.4%	3,006	17.6%	▲ 8
うち	就職内定者（※）	2,993	99.8%	3,000	99.8%	▲ 7
	就職未内定者	5	0.2%	6	0.2%	▲ 1

※就職内定者の内訳

県内企業	2,207	73.7%	2,301	76.7%	▲ 94
県外企業	786	26.3%	699	23.3%	87

2 就職内定率の推移

	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒	R7.3卒	R8.3卒
県	99.5%	99.8%	99.7%	99.9%	99.8%	99.8%
全国	97.9%	97.9%	98.0%	98.0%	98.0%	97.9%

※県は6月末現在、全国は3月末が最終報告となる。

3 県内企業・県外企業への内定割合の推移

	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒	R7.3卒	R8.3卒
県内企業	80.1%	81.0%	80.2%	78.4%	76.7%	73.7%
県外企業	19.9%	19.0%	19.8%	21.6%	23.3%	26.3%

4 就職未内定者の推移

	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒	R7.3卒	R8.3卒
人数	21人	9人	9人	3人	6人	5人
割合	0.5%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%

※求人倍率

	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒	R7.3卒	R8.3卒
求人倍率	3.07	3.63	4.22	4.94	5.43	5.17

※宮城労働局発表3月末現在（5月発表）

5 進路達成に向けた主な取組

（1）進路達成支援事業

卒業年次生向け「就職達成セミナー」「入社準備セミナー」
「高校生の就職を考える保護者セミナー」のほか、
1・2年生向け「将来セミナー」の実施

（2）インターンシップの推進

- ・受入企業等の情報提供
- ・県の機関におけるインターンシップ、アカデミックインターンシップの推進（R7実施率：75.6%）
- ・インターンシップの手引の作成・配布

（3）合同企業説明会・就職面接会（県雇用対策課、宮城労働局と共催）

- ・合同企業説明会を7月中旬に県内6圏域で開催（R8参加生徒：延べ1,999人）
- ・2年生向け企業説明会を10月に仙台、2月に気仙沼で開催予定

（4）「地学地就」産業人材育成事業

地学地就コーディネーターの配置：企業訪問等で得た情報を生徒・保護者に還元